

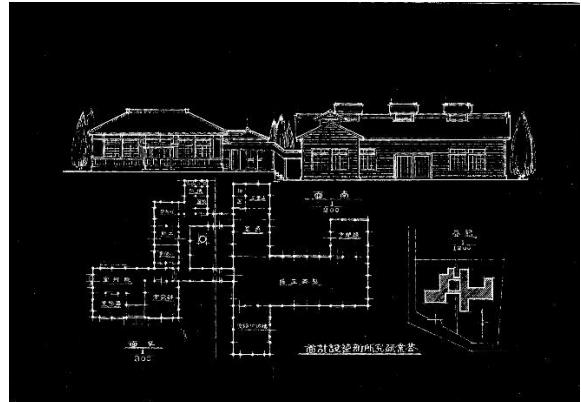
I 沿革

大正 14 年 久世郡宇治町宇治若森 7 番地に京都府茶業研究所設置

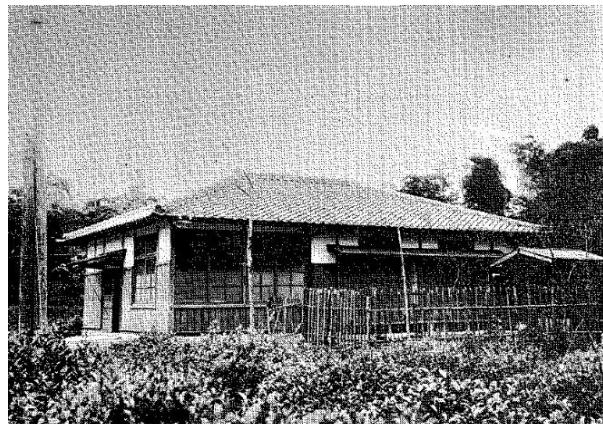
木幡に現業事務所及び試験茶園、小倉、楨島、五ヶ庄に試験茶園設置



創立当時の茶業研究所正門



新築設計図



木幡現業事務所

昭和 4 年 てん茶加工研究室設置

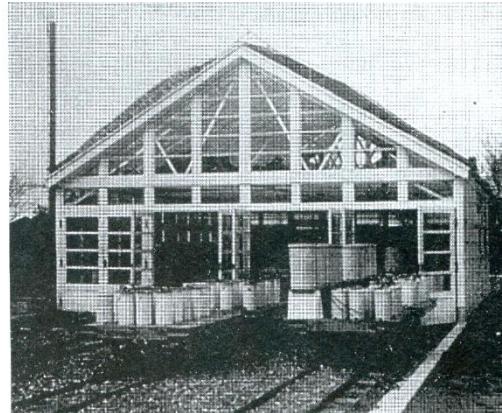


てん茶加工研究室

昭和 9 年 低温貯蔵試験室、ガラス室設置

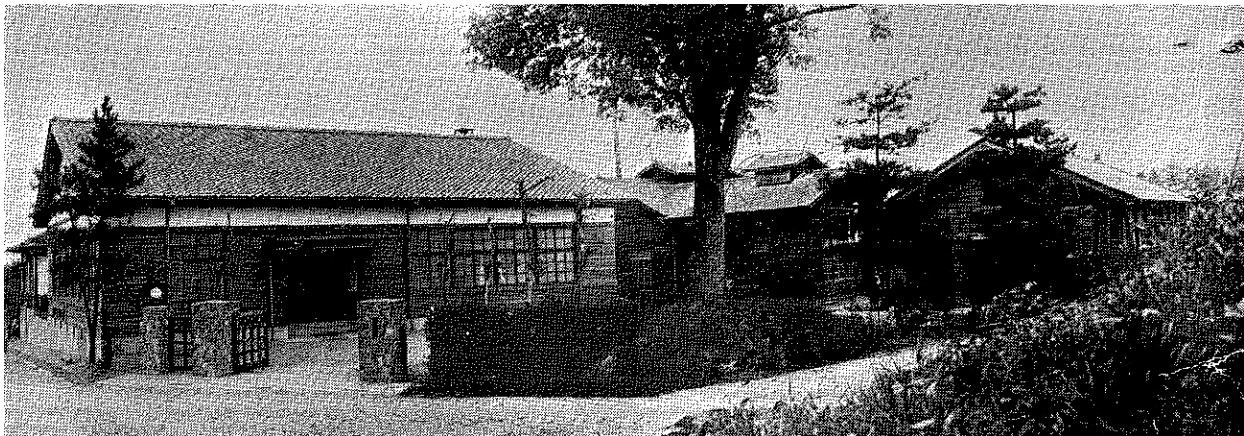


低温貯蔵試験室



ガラス室

昭和 10 年 改築



京都府茶業研究所改築全景（事務室、製茶指定試験室、講堂）

昭和 19 年 製茶工場全焼

昭和 21 年 製茶工場再建

昭和 22 年～25 年 農林省宇治農事改良実験所を併設

昭和 25 年 研究機関の整備統合により京都府立農業試験場茶業研究所となる

昭和 31 年 府条例の改正により、京都府立茶業研究所となる

昭和 44 年 宇治市白川中ノ菌 1 番地に移転、新築



本 館



製 茶 工 場



ガラス室・ポンプ小屋



試 験 ほ 場

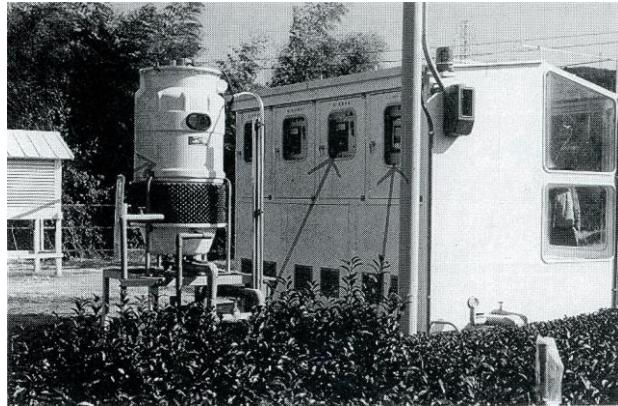


製茶工場・製茶機械



実 験 室

昭和 50 年 人工気象室を試験場に設置



人工気象室



新型てん茶機試作 2 号機

平成 5 年 気象観測装置を自動化

平成 15 年 新型てん茶機試作開始

平成 21 年 農林水産技術センター農林センター茶業研究所（宇治茶部）に改組

平成 30 年 新本館、製茶研究棟完成



交流室



ラウンジ



オープンラボ



機能性発現評価研究室



審査室



仕上げ加工研究室



手揉み室



揉み茶製造ライン



てん茶製造ライン



新型てん茶機 (小規模な実用機)